

「臨床婦人科産科」第46巻総目次

1992年第1号～第12号

数字は通巻頁数，() 内は号数です。

今月の臨床

子宮内膜症(1)

<病因と病態>

1. 内膜症は増えているか
加藤 順三・笠井 剛… 10
2. 発生機序……………青野 敏博… 14
3. 組織所見……………植木 実… 16
4. 発生部位と症候……………足高 善彦… 20
5. 増殖とステロイドレセプター……………寺川 直樹… 22
6. 月経痛のメカニズム
小池 弘幸・池ノ上 克・森 憲正… 24
7. 子宮内膜症と免疫
神崎 秀陽・刈谷 方俊・畑山 博… 27
8. 内膜症に伴う腹水の病因的意義…杉並 洋… 30

<診断と臨床期分類>

9. 診断の進め方—内診でどこまで
分るか……………藤井 明和・小林 善宗
井上 正人・本田 育子… 34
10. 超音波診断……………大屋 敦… 36
11. HSG ………………小倉 久男… 38
12. 骨盤内膜症の CT・MRI
富樫かおり・森 崇英… 40
13. 腫瘍マーカー……………根岸 能之… 45
14. 内視鏡診断……………高瀬規久也・星合 昊… 48
15. 外性子宮内膜症の臨床進行期分類
星合 昊… 50

<子宮内膜症と不妊>

16. 不妊の発生機序……………三橋 直樹… 54
17. 不妊症例の取扱い
小林 善宗・井上 正人
本田 育子・藤井 明和… 56
18. 体外受精・胚移植法の適応……………齊藤 英和… 58
19. 子宮内膜症と流産
有馬 隆博・宮本 新吾・和気 徳夫… 60

<子宮腺筋症>

20. 腺筋症と子宮筋腫の鑑別
藤井 信吾・小林弥生子… 62
21. 子宮腺筋症の治療方針……………太田 博孝… 64

<治療と予後管理>

22. 年齢別にみた内膜症の治療……………大野 洋介… 66
23. 対症療法……………岡村 均… 68
24. ダナゾール療法……………伊吹 令人… 70
25. GnRH アナログ療法 ………………白須 和裕… 73
26. 薬物療法の選択……………岩下 光利… 76
27. 保存的手術療法……………松本 裕史… 78
28. 腹腔鏡下レーザー治療……………岩田 嘉行… 82
29. 根治療法……………蜷川 映己… 84
30. チョコレート嚢胞に対する
エタノール注入療法
七里 和良・谷 啓光・田中 憲一… 86
31. 消化管子宮内膜症……………小林 博… 88
32. 肺子宮内膜症……………永田 行博・森 明人… 92
33. 臍内膜症……………下谷 保治・高嶋 知… 94
34. Frozen pelvis ………………鈴木 健治・福田 俊子… 96

妊娠と免疫(2)

<免疫とは>

1. 現代免疫学の問題点—自己認識…狩野 恭一… 137
2. 細胞性免疫……………森 庸厚… 142
3. 液性免疫……………野本亀久雄… 146
4. サイトカイン……………大本 安一… 148
5. HLA 抗原(組織適合性抗原)
家老 仁郎・竹内 正七
猪子 英俊・辻 公美… 151

<妊娠維持と免疫>

6. 胎児はなぜ拒絶されないか……………香山 浩二… 156
7. 母体と免疫能……………佐治 文隆… 159
8. 胎児の免疫能……………宮川 幸昭… 162
9. 絨毛細胞と HLA 抗原……………山下 幸紀… 166
10. 絨毛性免疫抑制因子……………松崎 昇… 168
11. 脱落膜と免疫……………斎藤 滋… 172
12. 遮断抗体……………見常多喜子… 176
13. 胎児の Fc ガンマレセプター……………亀田 隆… 178
14. 妊娠中のサイトカイン……………角田 肇… 180

<不妊・不育症と免疫異常>

15. 抗精子抗体
大頭 敏文・鎌田 正晴・青野 敏博… 182

16. 抗卵透明帯抗体	鎌田 正晴・大頭 敏文・青野 敏博… 184
17. 子宮内膜症と免疫……………	梅咲 直彦… 186
18. 習慣流産とリンパ球療法	藤井 知行・前島 正基・水野 正彦… 190
19. 抗リン脂質抗体と習慣流産……………	青木 耕治… 193
20. 免疫学的避妊法……………	繁田 実… 198
<異常妊娠と免疫>	
21. 胞状奇胎……………	大野 正文・半藤 保… 200
22. PROM と免疫……………	寺尾 俊彦・金山 尚裕… 202
23. 血液型不適合妊娠……………	久永 幸生… 204
<妊娠合併症と免疫—母児をどう扱うか>	
24. 肝炎……………	白木 和夫… 208
25. HTLV-I (成人T細胞白血病)	
感染症……………	植田 浩司・楠原 浩一… 201
26. HIV 感染症 (AIDS) ……	根岸 昌功… 212
27. 妊娠と甲状腺……………	高木 哲・網野 信行… 224
28. SLE	
神谷 仁・和田 芳直・木戸口公一	
藤田 富雄・新田 豊… 217	
29. 特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)	安達 知子… 220
30. 腎移植……………	東間 紘… 223
31. 悪性腫瘍……………	倉林 工・田中 憲一… 226

胎児治療—どこまで可能か (編集協力: 中野仁雄)

(3)

<胎児治療とは>	
1. 現況……………	中野 仁雄… 265
2. 周産期医療との関わり……………	小川雄之亮… 266
<内科的治療—胎盤通過性と薬効>	
3. 酸素……………	池田 智明・池ノ上 克… 269
4. 抗生物質……………	岡崎 武志… 272
5. ステロイド……………	高橋 稔・本多 洋… 275
6. ジギタリス……………	門間 和夫… 278
7. ガンマグロブリン……………	飯岡 秀晃… 280
<外科的治療法—手技>	
8. 穿刺法……………	遠藤 力・佐藤 章… 282
9. 交換輸血法……………	進 純郎・荒木 勤… 286
<疾患と治療>	
10. 胎児仮死はどこまで治療できる	
か……………	前田 一雄… 290
11. 溶血性疾患……………	金岡 毅… 296
12. 胎児水腫	
前田 博敬・永田 秀昭・中野 仁雄… 300	
13. 胎児発育遅延……………	工藤 尚文… 305

14. 水頭症……………	原 量宏… 308
15. 心奇形……………	岩崎 克彦… 310
16. 横隔膜ヘルニア……………	末原 則幸… 312
17. 消化管閉鎖……………	水田 祥代… 315
18. 閉鎖性尿路疾患……………	西島 正博・天野 完… 318
19. 胎児鏡下レーザー照射による双 胎間輸血症候群の治療	
名取 道也・田中 守	
石本 人土・野澤 志朗… 320	

<予防的治療>

20. 母児間血液型不適合 (感作予防)	
横尾 郁子・佐藤 孝道… 322	
21. 人工羊水……………	今中 基晴・荻田 幸雄… 326
<治療効果のモニタリング>	
22. 胎 動……………	住本 和博・寺尾 俊彦… 330
23. 心ポンプ機能の評価法	
佐藤 昌司・前田 博敬	
小柳 孝司・中野 仁雄… 332	
24. 臍帯, 脳, 腎血流……………	石松 順嗣… 336
25. 尿量・尿生化学・ β_2 ミクログ ロブリン……………	増崎 英明・山辺 徹… 338
26. 血 液……………	高橋 昌俊… 341
<胎児治療の展望>	
27. 胎児治療の展望……………	武田 佳彦… 344

不妊治療の進歩 (4)

<最近の動向>

1. 不妊治療—最近の動向……………	鈴木 秋悦… 395
2. 不妊治療の統計	
奥田喜代司・佐伯 理男・杉本 修… 398	
<排 卵>	
3. クロミフェンを主剤とした視床 下部性排卵障害の治療……………	仲野 良介… 401
4. クロミフェン無効例の排卵誘発 法……………	鎌田 周作・麻生 武志… 404
5. LH-RH のパルス投与による卵 巣刺激……………	荒木 重雄・玉田 太朗… 406
6. 高プロラクチン血症の治療	
菅沼 信彦・廣岡 孝・成田 収… 410	
7. PCO と GnRH アゴニスト	
—pure FSH 療法……………	苛原 稔・青野 敏博… 414
8. Primary ovarian failure は治 るか……………	宮川 勇生… 416
<卵 管>	
9. 卵の pick up 障害への対応……………	杉並 洋… 420
10. 通気法・通水法は卵管通過障害	

治療に有効か……………	川内 博人…	422
11. 卵管へのマイクロサージェリー		
の効果と問題点……………	長田 尚夫…	424
12. 外妊の保存療法と予後……………	田中 俊誠…	426
<内膜因子, 他>		
13. 子宮内膜症性不妊への対応		
武谷 雄二・水野 正彦…	430	
14. 胚—子宮内膜の同調性は必要か…	久保 春海…	433
15. 子宮の器質障害と不妊への対応…	深谷 孝夫…	436
<体外受精と関連手技>		
16. IVF-ET 法の治療成績……………	青野 敏博…	438
17. 外来 IVF-ET 法の実際と問題点		
井上 正人・小林 善宗		
本田 育子・藤井 明和…	442	
18. 過排卵刺激における GnRHa		
併用の効果……………	関 守利・伊吹 令人…	444
19. 体外受精・胚移植における凍結		
受精卵の応用……………	小田 高久…	447
20. 経子宮筋層の内膜内胚埋め込み法		
“The Towako Method”……………	加藤 修…	450
21. GIFT 法のメリット・デメリット		
山田 義治・田中 温・出嶋 秀明		
田中威づみ・吉田 一郎・竹本 洋一		
鷹野 和哉…	454	
22. HIT 法の実際と問題点		
杉村 和男・小林 俊文・赤星 晃一		
岩田 壮吉・大澤 淑子・北村 誠司		
野澤 志朗…	458	
23. マイクロ受精法応用の展望……………	小田原 靖…	460
<男性因子と人工授精>		
24. 精液性状と治療法の選択……………	福田 勝…	464
25. 精子凍結法の実際とその効果		
広井 正彦・佐藤 文彦・金杉 浩…	466	
26. 精子免疫と不妊……………	香山 浩二…	468
27. 精巣上体尾部精子の応用		
—とくに人工精液瘤について		
石川 博通・吉田 英機…	470	
28. AIH の効果的応用……………	己斐 秀豊…	472
29. 機能性不妊への過排卵刺激—AIH		
療法……………	都竹 理…	474
分婭前後の1週間(5)		
<ルーチン・ケア>		
1. 入院時の検査……………	島田 信安…	515
2. 分婭監視装置のみかた……………	原 量宏…	518
3. 分婭経過の診断法……………	久保 武士…	522

4. 臍帯巻絡の見つけ方		
田中 守・名取 道也・野澤 志朗…	524	
5. 前期破水への対応……………	小林 隆夫・寺尾 俊彦…	526
6. 硬膜外麻酔の適応と方法……………	高木耕一郎…	529
7. 分婭誘発の手順		
三宅 良明・宮川 康司・幾石 泰雄		
松浦 真彦・佐藤 和雄…	532	
8. 陣痛の促進と抑制……………	千村 哲朗…	536
9. 会陰切開と会陰裂傷……………	伊藤 博之…	538
10. 胎盤娩出法……………	椋棒 正昌・柴田 和男…	542
<エマージェンシーケア>		
11. 骨盤位……………	雨森 良彦…	544
12. 臍帯下垂・脱出……………	深見 和之・脇本 博…	550
13. ダブルセットアップ……………	鮫島 浩…	552
14. 急速遂娩の適応……………	宇津 正二・成田喜代司…	554
15. 鉗子と吸引分婭……………	合阪 幸三…	556
16. 羊水混濁……………	平 省三…	558
17. 胎児仮死		
荒木 壮・遠藤 力・佐藤 章…	561	
18. 頸管裂傷と子宮破裂……………	末原 則幸…	565
19. 第3期出血の応急処置……………	岡田 悦子…	568
<介助者へのアドバイス>		
20. 浣腸・導尿・食事……………	佐藤 昭江…	571
21. 末期未産妊婦に対するラマーズ		
法短期特訓方式に関する試案……………	尾島 信夫…	572
22. 産婦の呼吸法……………	竹内美恵子…	576
23. 分婭第Ⅱ期の介助……………	水沢 信子…	578
24. 分婭後の褥婦観察……………	丸山真紀子…	580
25. 骨盤位分婭の介助……………	田村 慶子…	581
26. 子宮復古の促進……………	久米美代子…	584
27. 臍帯結紮・切断の時期と方法……………	水谷喜代子…	586
28. 扁平・陥没乳頭を持つ人に対する		
援助……………	松本 邦子…	588
<新生児>		
29. 臍帯処置……………	大川 昭二・蘇 娟楠…	590
30. 新生児蘇生法……………	鈴木 重澄・戸苅 創…	592
31. 沐浴か清拭か……………	笠 則義…	596
32. 新生児の保温・観察……………	秋山 正…	599
33. 新生児感染症の見分け方……………	上田 隆…	602
<産 褥>		
34. 子宮復古不全……………	瓦林達比古・原田 啓之…	604
35. 乳汁分泌の促進と抑制		
多賀 理吉・山中美智子…	607	
36. 乳房マッサージ……………	根津 八紘…	611
37. マタニティブルー……………	前原 澄子…	614

帝王切開（6）		
＜帝王切開の変遷＞		
1. 帝王切開率……………	久保 武士…	640
2. 帝王切開は減少できるか……………	武田 佳彦…	642
3. 反復帝王切開—何回まで可能か？岩崎	寛治…	646
4. 前回帝王切開—経腔分娩の条件 は？……………	松浦 俊平…	648
＜帝王切開に踏みきるとき＞		
5. CPD ……………	兼子 和彦…	650
6. 前置胎盤……………	本郷 基弘…	653
7. 胎盤早期剝離……………	佐藤 郁夫…	656
8. 臍帯因子 西島 正博・谷 昭博・植野 信水…		660
9. 胎児仮死……………	岡村 州博・武山 陽一…	664
10. IUGR……………	中村 靖・竹内 久彌…	668
11. 胎児水腫……………	岡井 崇…	670
12. 極小および超未熟児 遠藤 力・大和田真人・佐藤 章…		674
13. preterm PROM ……………	友田 昭二…	677
＜合併症妊娠と帝王切開＞		
14. 妊娠中毒症 中山 道男・諸見里秀彦・宮城 博子…		680
15. 増殖性腎炎……………	中林 正雄・安藤 郁枝…	683
16. 糖尿病網膜症……………	亀山 和子…	686
17. 特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)……………	雨宮 章…	689
18. 子宮筋腫核出術後 渡辺 芳明・小倉 一仁・畑 俊夫…		692
＜帝王切開の実際＞		
21. 麻酔法の選択……………	川添 太郎…	700
22. 帝切麻酔の問題点……………	川添 太郎…	702
23. 帝切前の必須検査…小西 邦彦・豊田 長康…		705
24. 子宮壁の横切開法，各種縫合法…辻 啓…		708
25. 体部縦切開……………	高木耕一郎…	710
26. 腹膜外帝王切開術…工藤 隆一・郷久 鉦二…		712
27. 胎児娩出の工夫……………	菊地 三郎…	714
28. ポロー手術……………	戸出 健彦・永田 一郎…	716
29. 胎児手術時の子宮切開法 河村 亮・進 純郎・荒木 勤…		719
30. 帝王切開術後感染の予防……………	館野 政也…	722
31. 帝王切開後の授乳管理 青野 敏博・舟戸 豊子・佐野 寿代…		727
32. 新生児の手術室内管理 志賀 清悟・柴田 隆…		730
＜帝王切開のリスク＞		
33. 帝切児症候群……………	貝原 学…	732
34. 大出血……………	齋藤 良治・中村 幸夫…	734
35. 帝王切開後の血栓……………	鈴木 重統…	736
36. 縫合不全 矢追 良正・方 世録・松永 啓伸 渡部 秀樹・蘇 娟楠・天野 和彦…		740
37. 膀胱・尿管障害……………	藤井 信吾・平林 稔之…	742
卵巣がん—疫学から治療まで (編集協力：薬師寺道明)（7）		
＜疫学と動向＞		
1. 卵巣がんの動向……………	薬師寺道明…	768
2. 癌マッピング—頻度と死亡率……………	園田 隆彦…	770
3. リスクファクター 森 満・福田 勝洋・西村 治夫…		774
4. 年齢別にみた発生頻度と特徴……………	佐藤 信二…	776
＜分類＞		
5. 臨床病理学的分類—新分類（日 産婦）の改定要点……………	中島 伸夫…	780
6. 臨床進行期分類（FIGO）—新 分類の改訂要点……………	落合 和徳…	782
7. TNM 分類（UICC）……………	中島 久良…	786
＜診断＞		
8. 早期診断は可能か—スクリーニ ングの効率的方法……………	菊池 義公…	789
9. 問診，内・外診のチェックボイ ント……………	根岸 能之…	794
10. 卵巣癌の術前細胞診……………	杉下 匡…	797
11. 超音波診断法—実施上の留意点…嘉村 敏治…		800
＜良・悪性の鑑別の要点＞		
12. 超音波診断法……………	野田 恒夫・安達 進…	802
13. CT 検査法 高橋 康一・山内 格・中村 幸雄…		806
14. MRI 検査法……………	小西 郁生…	810
15. 腫瘍マーカー 宇田川康博・伊藤高太郎・木口 一成 塚崎 克己・野澤 志朗…		813
＜術中・術後診断＞		
16. 開腹所見のみかた……………	池田 正典…	818
17. 術中細胞診……………	北條 智・吉川 裕之…	821
18. 迅速診断の意義と限界……………	並木 恒夫…	826
19. 術後摘出標本の取り扱い……………	井筒 俊彦…	828
＜手術療法＞		
20. 卵巣癌の基本術式……………	安田 允…	831
21. 上皮性卵巣癌に対する保存的手 術……………	西田 敬…	834
22. 腫瘍縮小手術の適応条件……………	関谷 宗英…	836

23. Second look operation の適応 と意義……………西村 治夫・大蔵 尚文… 838	
<化学・放射線療法>	
24. 化学療剤の種類……………滝沢 憲… 841	
25. 寛解導入療法の効果的レジメン…西田 正人… 846	
26. 維持化学療法のあり方……………井上 正樹… 849	
27. Neoadjuvant Chemotherapy の 導入とその背景……………平林 光司… 852	
28. 卵巣癌の免疫療法は有効か 上坊 敏子・西島 正博… 854	
29. ホルモン療法は有効か 金沢 浩二・本間 滋・田中 憲一… 857	
30. 卵巣癌に対する腹腔内化学療法…清水 敬生… 860	
31. 卵巣癌に対する動注療法 清水 敬生・荷見 勝彦… 865	
32. 化療副作用対策の新しい展望…波多江正紀… 868	
33. 術後照射の適応と現況……………永井 宣隆… 871	
<予 後>	
34. 組織型と予後……………梅咲 直彦… 875	
35. 臨床進行期別予後……………梅咲 直彦… 878	

高年婦人科—更年期から老年期へ（8）

<疫学と統計>

1. 人口動態からみた高年婦人……………今泉 洋子… 902	
2. 高年婦人の疾病統計 対木 章・佐藤 信二・矢嶋 聡… 904	

<加齢による変化>

3. 加齢に伴う性器変化……………笠井 寛司… 907	
4. 性器の機能と形態……………高島 英世… 910	
5. 内分泌環境……………小山 嵩夫… 912	
6. 骨代謝……………陳 瑞東・白木 正孝… 914	
7. 精神心理上の問題点……………長谷川和夫… 917	

<一般症状の診かた，とらえ方>

8. 頭痛……………平井 俊策… 920	
9. 腰痛……………平野 典和… 923	
10. 不眠とうつ……………大原健士郎・熊谷 久代… 926	
11. 肥満とるいそう……………小林 伸行・玉井 一… 928	
12. のぼせ……………井口登美子… 930	
13. 冷え……………福島 峰子… 932	
14. 神経痛……………芝山 幸久・筒井 末春… 934	
15. 不正性器出血……………荷見 勝彦… 936	
16. 帯下……………中室 嘉郎… 939	
17. 性器・膀胱の下垂感……………桑原 惣隆… 942	
18. 頻尿と尿失禁……………大井 好忠… 946	

<治療上の問題点>

19. 老人性肺炎……………永田 行博・藤野 敏則… 948	
--------------------------------	--

20. 発癌母地と考えられる外陰疾患…山辺 徹… 950	
21. 性器の下垂と脱……………永田 一郎… 952	
22. オステオポロシス—治療薬剤 の選択と現時点での評価 太田 博明・牧田 和也・隅田 能雄 池田 俊之・増沢 利秀・野澤 志朗… 959	
23. 高年婦人の薬剤使用上の問題点…大友 英一… 964	
24. 高齢者手術療法のリスク……………山片 重房… 966	
25. 子宮癌根治手術の年齢的限界 塚本 直樹・嘉村 敏治・斎藤 俊章… 968	
<予防的ケア>	
26. エストロゲン補充療法……………熊坂 高弘… 971	
27. ビタミンD，カルシウム療法 岡崎 亮・松本 俊夫… 974	
28. 食事と運動……………玉井 利孝・中井 継彦… 977	
29. 漢方薬……………佐藤 弘… 981	
<高年外来の進め方>	
30. 大病院の高年外来 中村 元一・野崎 雅裕・中野 仁雄… 984	
31. 診療所の高年外来……………唯 正一… 986	

排卵—誘発と抑制の実際（9）

<排卵メカニズム>

1. 排卵と視床下部……………川越慎之助…1030	
2. 排卵と下垂体……………伊吹 令人・安藤 一道…1033	
3. 排卵と卵巣……………田辺 清男・小林 俊文…1036	
4. 排卵と副腎皮質……………見尾 保幸…1039	
5. 排卵とモニタリング……………本田 育子…1042	

<誘発法の実際>

6. 排卵誘発法の選択基準 青野 敏博・苛原 稔…1045	
7. クロミフェン……………久保田俊郎・麻生 武志…1048	
8. クロミフェンのバリエーション 療法……………関 克義…1052	
9. hMG-hCG ……佐久本哲郎・高宮城直子…1054	
10. pure FSH-hCG ……水沼 英樹・伊吹 令人…1057	
11. GnRH パルス状投与 中村 幸雄・安藤 索・吉村 泰典…1060	

<誘発法の副作用>

12. OHSS の予防と管理 ……石丸 忠之…1063	
13. 重症 OHSS の管理 工藤 美樹・岩下 光利…1066	
14. 排卵誘発と多胎妊娠……………安水 彦彦…1070	
15. ステロイドホルモンの副作用……………松峯 寿美…1072	

<疾患の治療>

16. 無月経のステロイドホルモン療	
--------------------	--

法……………	田中 昭一	1074
17. 機能的出血のステロイドホルモン療法……………	平川 舜・川島 夕美	1077
18. 高プロラクチン血症……………	森 宏之	1080
19. 多嚢胞卵巣症候群……………	吉田 信隆・平野由紀夫	1082
<不妊治療>		
20. 黄体機能不全の治療……………	松浦 講平・岡村 均	1084
21. AIH の補助療法……………	儀間 裕典・稲福 盛弘	1087
22. IVF-ET のための卵巣刺激法……………	吉村 泰典・中村 幸雄	1090
23. 漢方薬の応用……………	高橋 諄・矢内原 巧	1095
<抑制法の実際—経口避妊薬>		
24. ピルの種類……………	山本 宝	1098
25. ピル投与時の注意事項……………	佐藤 和雄・大谷 香	1101
26. ピルの副作用……………	植村 次雄	1104
27. ピルの効用……………	広井 正彦・伊藤久仁子	1108
<抑制法の実際—GnRH アゴニスト>		
28. 子宮内膜症……………	玉舎 輝彦	1110
29. 子宮筋腫……………	堂地 勉	1114

抗癌剤 (10)

<種類と作用機序>

1. 種類と作用機序……………	福島 道夫	1162
2. 適応疾患と感受性……………	佐藤 重美	1166
3. 免疫療法剤……………	鎌田 正晴・古本 博幸・青野 敏博	1168
4. ホルモン剤……………	保田 仁介	1172
<感受性同定法>		
5. in vitro 法……………	西田 正人	1174
6. in vivo 法 (Nude mouse, Subrenal capsule assay)……………	佐々木 寛	1178

<効果判定法>

7. 癌治療学会基準, カルノフスケー分類……………	大村 剛・渡辺 肇・古川 隆正 長谷川絵美・平野 孝幸	1180
8. 卵巣癌化学療法の病理学的効果判定……………	蔵本 博行・上坊 敏子 泉 貴文・角田 新平	1184
9. 腫瘍マーカーと画像診断……………	石川 睦男	1187
<投与方法>		
10. 静注療法……………	井上 正樹	1190
11. 選択的動注療法……………	東 政弘・佐久本 薫・金澤 浩二	1193

12. 腹腔内投与方法……………	鈴木 正明	1196
13. 超大量投与方法・少量持続投与方法……………	篠塚 孝男・藤井 明和	1198

<効果増強法>

14. 併用投与方法—5FU と MTX, Cell cycle を含めて……………	佐々木 茂	1203
15. 温熱療法……………	河野 一郎	1206
16. アンジオテンシンⅡ (昇圧化学療法)……………	原田 誠	1209
17. 耐性の獲得とその克服……………	吉川 史隆・小口 秀紀	1212

<投与時期>

18. 術前投与 (Neoadjuvant chemotherapy)……………	平林 光司	1215
19. 術後投与 (Adjuvant chemotherapy)……………	林 和彦	1218

<副作用軽減法>

20. 骨髄抑制に対する G-CSF, M-CSF の有用性……………	宇田川康博・伊藤高太郎・野澤 志朗	1221
21. 消化器系の副作用……………	林 雅敏・矢追 良正	1224
22. 腎障害……………	陳 瑞東	1226
23. 生殖機能障害……………	滝沢 憲	1228
<疾患別治療指針>		
24. 卵巣癌……………	綱脇 現	1231
25. 子宮体癌, 子宮肉腫……………	植田 政嗣・植木 実	1234
26. 子宮頸癌……………	利部 輝雄	1237
27. 侵入奇胎, 絨毛癌……………	前田 真	1241
28. 二次的化学療法の選択……………	岩坂 剛	1244
29. 抗癌剤打切りのタイミング……………	落合 和徳・新美 茂樹	1248

思春期診療 (11)

<思春期の生理>

1. 思春期とは……………	宮川 勇生	1290
2. 内分泌機能の発達……………	玉井 伸哉・松尾 宣武	1292
3. 思春期のころろ……………	芳川 玲子・馬場 謙一	1294

<症状とその対応>

4. 性器の發育・発達異常……………	安水 洸彦	1296
5. 外陰・腔の炎症……………	黒島 淳子	1300
6. 早発月経・遅発月経……………	森下 一	1303
7. 無月経……………	石塚 文平	1306
8. 月経困難症……………	足高 善彦	1308
9. 不正子宮出血……………	間壁さよ子・長谷川絵美	1311
10. 神経性食思不振症……………	楠原 浩二	1314

11. クラミジア感染症……………野口 昌良…1317	
12. 卵巣腫瘍	
泉 陸一・伏木 弘・藤村 正樹…1320	
13. 思春期のスキンケア……………上出 良一…1324	
<思春期から性成熟期へ>	
14. 肥 満……………河上 征治…1326	
15. 多 毛……………中居 光生…1329	
16. 低身長……………田苗 綾子…1332	
17. 思春期における乳房発育異常……弥生 恵司…1336	
<治療上の問題点>	
18. ホルモン療法……………林 直樹・武谷 雄二…1338	
19. 思春期診療と漢方療法……………村田 高明…1340	
20. 心理療法……………森 崇…1344	
21. 手術療法……………上田 克憲・大浜 紘三…1346	
<思春期と性>	
22. 性教育—現場からの問題提起……高岡 邦夫…1349	
23. エイズ教育……………佐藤 恒治…1352	
24. 若年婦人の妊娠・分娩……………片桐 清一…1356	
<思期期外来のあり方>	
25. 思春期婦人診療の実際	
—予診から治療モニターまでの	
ポイント……………加藤 宏一…1358	
26. 当院における思春期外来—その	
現況と今後の抱負……………吉田 順一…1361	
27. 大病院での思春期外来……………甲村 弘子…1364	
付) 思春期データメモ—西野るり子・北井 啓勝…1367	

漢方薬—西洋医薬との使い分け (12)

<漢方療法の基礎>

1. 東洋医学と西洋医学の違い……………大澤 伸昭…1412	
2. 証について……………代田 文彦…1414	
3. 漢方処方の基本……………佐藤 弘…1417	

<思春期>

4. 若年婦人の月経困難症……………稲葉 芳一…1422	
5. 未婚婦人の月経異常	
見尾 保幸・寺川 直樹…1424	
6. 無排卵……………秋山 敏夫・矢内原 巧…1426	
7. 黄体機能不全……………小山 嵩夫…1428	
8. 男性不妊	
野田 洋一・夏山 知・森 崇英…1430	
9. 不育症	
玉置 淳子・山田 秀人・奥山 和彦	
田中 俊誠・藤本征一郎…1433	

<妊・産・褥婦>

10. 悪阻……………正田 常雄…1436	
11. 風邪症候群……………青山 廉平…1438	

12. 便 秘……………成田 収…1440	
13. 妊娠中毒症……………江口 勝人・米沢 優…1443	
14. 切迫早産……………千村 哲朗…1446	
15. 乳汁分泌不全……………佐藤 芳昭…1448	
16. 痔疾患……………黄 長華…1451	
<婦人科疾患>	
17. 子宮内膜症……………福島 峰子…1454	
18. 子宮筋腫……………山本 宝…1457	
19. 抗がん剤の副作用防止	
西村 治夫・今村 和夫…1460	
<更年期, 閉経後期>	
20. 中年婦人の肥満—その特徴	
と対策……………山本 昌弘…1462	
21. hot flush……………丸尾 猛・望月 真人…1465	
22. 不安, 不眠……………菊川 寛…1468	
23. 萎縮性腔炎……………久保田武美・平山 博章…1470	
24. 排尿障害	
鎌田 正晴・安井 敏之・青野 敏博…1472	
25. 腰痛, 肩こり……………関 直樹…1476	
26. 骨粗鬆症……………神谷 直樹・安田 允…1478	
27. 冷え症……………石野 尚吾…1482	

■常用併用療法—私の処方 (コラム)■

小柴胡湯—ダナゾール……………吉田 耕治…1420	
温経湯—クロミフェン……………安井 敏之…1432	
六君子湯—プロモクリプチン……………高橋 克幸…1435	
桂枝茯苓丸—ビタミン D ₃ ……太田 博明…1437	
桂枝茯苓丸—ダナゾール……………高橋 克幸…1442	
八味地黄丸—ビタミン D ₃ 製剤……………竹内 泉…1445	
半夏瀉心湯—鉄剤……………早川 智・佐藤 和雄…1450	
柴苓湯—低用量アスピリン	
高桑 好一・田中 憲一…1456	
十全大補湯—抗癌剤……………早川 智・佐藤 和雄…1459	
当帰芍薬散—結合型エストロゲン…假野 隆司…1464	
加味逍遙散—ブセレリン……………後山 尚久…1475	
当帰芍薬散—リトドリン……………堤 治…1475	
加味逍遙散—トランキライザー……………郷久 鉦二…1480	

カラーグラフ 胎盤の生理と病理

第1回 巨大絨毛膜下血腫, 胎盤内

フィブリン沈着……………中山 雅弘… 6(1)	
第2回 双胎……………中山 雅弘… 133(2)	
第3回 羊膜索症候群……………中山 雅弘… 261(3)	
第4回 Potter 症候群と羊膜結	
節……………中山 雅弘… 391(4)	
第5回 絨毛膜羊膜炎……………中山 雅弘… 511(5)	
第6回 妊娠中毒症……………中山 雅弘… 635(6)	

第7回 臍帯の病理

中山 雅弘・虫明聡太郎… 763(7)

第8回 子宮内胎児発育遅延

(IUGR)……………中山 雅弘… 897(8)

第9回 血行性感染症……………中山 雅弘…1025(9)

第10回 梗塞・血栓・中隔嚢腫・

フィブリン沈着……………中山 雅弘…1157(10)

第11回 胞状奇胎, およびその

類縁病変……………中山 雅弘…1285(11)

第12回 流産・双胎(続き) ……中山 雅弘…1407(12)

Current Research

子宮内膜症と不妊……………杉並 洋… 99(1)

妊娠中毒症—その予知と予防……伊藤 昌春… 229(2)

顆粒膜—莢膜細胞間相互作用と

卵巣機能コラーゲン膜両面培

養系を用いた機能形態学的研

究……………小辻 文和… 347(3)

頸癌の初期発生と HPV 感染

—子宮頸部の HPV 感染と人

類の進化……………小西 郁生… 617(5)

アンドロゲンを介する女性にお

ける副腎と卵巣との器官相関

—尿中テストステロン過剰の

意味するもの……………中居 光生… 991(8)

遺伝子診断……………鈴木 薫…1117(9)

妊娠の成立機構と細胞成長因子…多賀 理吉…1485(12)

Current Clinic

更年期障害の外来診療……………安部 徹良… 477(4)

マタニティーブルー—産科スタ

ッフの役割

吉田 敬子・中野 仁雄

R. Kumar…1251(10)

高単位抗癌剤療法と骨髄移植……篠塚 孝男…1373(11)

総 説

免疫学的側面よりみた妊娠中毒

症 Preeclamptic Vasculopathy

近藤 泰正・千島 史尚・早川 智

秋山 邦久・今井 一夫・佐藤 和雄… 357(3)

原 著

妊娠合併子宮頸部病変における

HPV 感染の分子生物学的検

討

太田さなえ・永井 宣隆・谷本 博利

藤本 英夫・大浜 紘三… 108(1)

女性と味覚

Female reproductive phenomena

and change of taste sensitivity

渡利 英道・和泉 宏彌

田中 俊誠・藤本征一郎… 115(1)

頸管無力症に対する予防的頸管

縫縮術—McDonald 法と

Shirodkar 法の比較—

今井 史郎・今井 隆・宮西加寿也

清水 郁也・末原 則幸・竹村 喬… 237(2)

妊婦血清 HDL・LDL 分画の

血小板凝集に与える影響

飯岡 秀晃・赤田 忍・島本太香子

久永 浩靖・山田 嘉彦・森山 郁子

一條 元彦… 367(3)

高感度妊娠診断試薬を用いた

腹腔内出血の治療方針

村尾 寛・金城 国仁・上村 哲

宮川 桂子・高橋 慶行・橋口 幹夫

宮城 源・稲福 恭雄… 370(3)

進行期卵巣癌に対する Etoposide,

CDDP 併用化学療法

生川 伸二・南野 英隆・立山 一郎

林 道治・上田 浩・加藤 敬也

田内 園彦… 487(4)

妊娠中毒症ならびに HELLP 症

候群におけるヒト肝細胞増殖

因子(hHGF)の動態

飯岡 秀晃・赤田 忍・久永 浩靖

島本太香子・山田 嘉彦・森山 郁子

一條 元彦・坪内 博仁… 493(4)

進行期卵巣癌に対する維持化学

療法としてのエトポサイド経

口投与法の試み

生川 伸二・南野 英隆・小松 孝之

林 道治・上田 浩・加藤 敬也

田内 園彦… 625(5)

HPV 感染の有無によって異形

成の転帰に差が生じたか?

—後方視研究からみた子宮頸

部病変進行群と消退群におけ

る HPV の関わり—

今野 良・佐藤 信二・矢嶋 聡… 745(6)

臍帯の異常血管の病理的検討

有澤 正義・中山 雅弘…1001(8)

癌性腹膜炎に対する Carboplatin
腹腔内化学療法の試み
山本 紳一・大西 勉・南部香成子
徳重 誠・杉並 洋・清水 保…1008(8)

性器下垂・脱の臨床的検討
佐倉 まり・瀧沢 憲・安達 知子
井口登美子・武田 佳彦…1129(9)

ヒト胎盤絨毛組織 cytosol 分画
によるヘパリンの不活性化
飯岡 秀晃・赤田 忍・山田 嘉彦
島本太香子・森山 郁子・一條 元彦…1133(9)

ヒト胎盤絨毛組織の血小板凝集
阻止活性—臍帯静脈血管の血
小板凝集阻止活性との比較—
飯岡 秀晃・赤田 忍・島本太香子
山田 嘉彦・森山 郁子・一條 元彦…1261(10)

妊娠36週未満の PROM の臨床
的検討……………飯田 和質・原田 丈典
道倉 康仁・上野 浩之…1266(10)

閉経婦人の高脂血症に対するエ
ストロゲン剤と HMG-CoA
還元酵素阻害剤プラバスタチ
ン(メバロチン®)による短
期治療成績の比較
後山 尚久・岡本 吉明・杉本 修…1381(11)

卵巣腫瘍の疫学的考察
井浦 俊彦・桑原 惣隆・高林 晴夫
土用下麻美・国部 久也・吉田 勝彦
上田由生子・羽根 淳治・丹野 治郎
福間 秀昭…1385(11)

クモ膜下微量モルヒネ投与によ
る帝王切開術後の鎮痛効果と
安全性
成松 昭夫・伊東 武久・縄田 修吾
小林 正幸・秋田 彰一・宮内 善豊…1390(11)

Quality of Life (QOL) からみ
た更年期不定愁訴例の検討と
更年期外来の役割
後山 尚久・豊田 勝弘・杉本 修…1497(12)

ヒト肝細胞増殖因子(hHGF)
の周産期における動態—羊膜
の役割
飯岡 秀晃・赤田 忍・島本太香子
山田 嘉彦・森山 郁子・一條 元彦…1503(12)

症 例

EDTA-依存性偽性血小板減少
症の一例
山本 紳一・岡田 弘… 120(1)

気管閉鎖と持続的低羊水サーフ
ァクタント値を示した VAC-
TERL association の一症例
津田 晃・樋口 誠一・村田 昌功
清水 靖・谷頭 幸・池上 俊哉
木村菜桜子・松浦 亨・平野 秀人
真木 正博・大友 公一… 241(2)

分娩前に造影 MRI を用いて出
生前診断を得た Potter 症候
群の1例
高野 始・前川 岩夫・井関 紀一
藤本 肇・村上 康二・市川 智章
野坂 謙二… 245(2)

多発奇形をともなった Fronto-
nasal dysplasia の1剖検例
有澤 正義・野原 当・中山 雅弘
末原 則幸… 374(3)

自己免疫疾患と発癌
中塚 幹也・江尻 孝平… 497(4)

羊水過多症を伴い、一児に心不
全をきたした一絨毛膜—羊膜
双胎の一例
津田 晃・樋口 誠一・村田 昌功
松浦 亨・池上 俊哉・清水 靖
平野 秀人・真木 正博・大友 公一… 749(6)

高インヒピン血症を示した顆粒
膜細胞腫の一例
中島 敬和・長谷川喜久・宇津木利雄
山口 昌章・川上 裕子・峯岸 敬
伊吹 令人・五十嵐正雄… 882(7)

受胎後34日に胎芽の心拍を検出
した子宮外妊娠の1例
—発生学的ならびに診断学的
検討—……………森 義三郎・森 明人
関 修一郎・桑名 貴…1011(8)

出生前に診断しえた Congenital
Cystic Adenomatoid Malfor-
mation (CCAM) を合併した
非免疫性胎児水腫の1症例
畑沢 淳一・樋口 誠一・早川 正明
佐藤 栄寿・松浦 亨・平野 秀人
真木 正博…1136(9)

皮脂腺の悪性変化を伴う卵巣成

熟嚢胞性奇形腫の1例

堀田 正英・夏秋 洋一・山田 孝之

小林 洋・下釜 達朗・渡辺 照男

花田 基典…1273(10)

卵管留水症茎捻転の3例

長坂 久司・池上 淳・長坂 正仁

深田 幸仁・中沢 忠明・安水 洗彦

加藤 順三…1395(11)

薬の臨床

酢酸リユープロレリン徐放性注

射剤(TAP-144-SR)の子宮

内膜症に対する臨床的有用性

の検討

松尾 明美・岩下 光利・中山 摂子

三室 卓久・瀬戸山琢也・小林万利子

工藤 美樹・吉井 大介・安達 知子

武田 佳彦…1140(9)

メルボルン便り(堀口 文)

常識も移り変わっていく……………124(1)

オークランド大学訪問記……………250(2)

女性の sexuality は大きく変わ

る一大学のフェミニズム運動……………380(3)

メルボルンでの医学講座 Women's

Health ……………500(4)

体外授精児の精神発達の行方……………886(7)

昨日の患者

妊娠後期胎内死亡, 夫の浮気が

原因?……………長澤 一磨…12(1)

高アミラーゼ血症の2例……………西 修…158(2)

ある分裂病患者と卵巣癌……………永井 宏…289(3)

帝切準備間に合わず全足位で経

腔分娩……………館野 政也…778(7)

トピックス・臨床メモ

胎盤アロマターゼ欠損症と女性

仮性半陰陽……………田部井 徹…72(1)

子宮脱366手術例の統計的分析

宮本 海雄・高木 道夫

桂川 浩・吉田 益美…378(3)

厚生省だより

母子健康手帳の改定について……………中島 正夫…560(5)

人工妊娠中絶を実施する時期の

基準の変更について……………広畑 弘…699(6)

「これからの母子医療に関する

検討会」の最終報告から……………上家 和子…874(7)

出産前小児保健指導(ブレネイ

タル・ビジット)について……………上家 和子…990(8)

遺伝子治療に関する厚生科学会

議の中間意見について……………椎葉 茂樹…1051(9)

周産期医療に関する心身障害研

究の状況について……………正林 督章…1177(10)

日本の周産期死亡率

(人口動態統計から)……………北澤 潤…1335(11)

総合健康診査について……………六本木義光…1484(12)

Obstetric News(武久 徹)

コカインと妊娠……………206(2)

早産の予防……………222(2)

前回帝王切開妊婦全例に経腔分

娩を試みるべきか? : VBAC Score……………285(3)

非頭位の場合の双胎第2児の分娩方法……………397(4)

肩甲難産(Shoulder dystocia)と帝王切開……………419(4)

妊娠中のアスピリン投与……………663(6)

胎児呼吸様パターンの sonography は胎児

well-being の指標になるか? ……………682(6)

Active management of labor ……………744(6)

アプガースコアと新生児予後……………785(7)

予定日超過妊娠の管理: 米国周産期学会員の

アンケート調査……………796(7)

羊水量推定(AFI)は何日間隔で行うべき

か?……………833(7)

B群溶連菌による早発型新生児感染症予防……………906(8)

子宮内胎児発育遅延合併妊娠(IUGR)にお

ける分娩前異常 Doppler velocimetry と

分娩中の異常胎児心拍数パターンの関係……………945(8)

Fetal fibronectin: Preterm PROM の疑い、

症例における分娩時期推定の有用性……………1007(8)

原因不明羊水過多症には羊水穿刺を……………1032(9)

胎動減弱後の検査結果が正常の場合の管理法……………1093(9)

Lyme(ライム)病と妊娠……………1165(10)

過期妊娠の管理: 待機が誘発か〜最も重要な

検査は羊水量推定……………1236(10)

トキソプラズマ症と妊娠……………1271(10)

12,000例のバイオフィジカル・プロファイル

(BPP)で胎児死亡は2例……………1323(11)

人工破膜と分娩後	1421(12)
骨盤位外回転術の安全性および有用性	1481(12)

Current Practice (矢沢圭二郎)

高齢女性の妊娠率低下は卵子の悪化によるものか?	155(2)
ほとんどの産婦人科医は妊娠糖尿病のスクリーニングを施行	165(2)
子宮頸部癌は性病か	177(2)
高齢産婦と染色体異常	196(2)
鉗子分娩や吸引分娩は児にどのような影響をあたえるか	274(3)
エストロゲンは心臓血管系に保護作用をもつ	277(3)
神経管欠損の予防に葉酸を	298(3)
超低体重児の生存	307(3)
乳癌診断のための細針穿刺	328(3)
腹腔鏡による腹腔内癒着剝離	415(4)
米国医師会が AIDS 用保険を発表	440(4)
Laser による子宮内膜破壊術	446(4)
米国産婦人科医の Subspecialty	459(4)
CVS vs Aminocentesis	467(4)
頸管未熟と過期妊娠	495(4)
埋め込み型心室細動除去機	528(5)
アスピリンは大腸癌を防げるか?	570(5)
英国における医療訴訟と防衛的医療	585(5)
生命とは何か?	587(5)
31歳以後は受胎力減少	644(6)
新生児死亡率	701(6)
熱い風呂は神経管開存の原因か?	715(6)
AIDS ウイルスは血中に多く、精液中に少ない	731(6)
エストロゲンの使用は心臓疾患を減少させる	
—10年間の追跡調査の結論	788(7)
小児の急性腹症に超音波検査を	799(7)
増加する敗血症	816(7)
Estrogen as Mood Enhancer	820(7)
若い女性の乳房腫瘍は待たずに速やかに組織診断を	824(7)
妊婦の喫煙は子宮外妊娠を増加させる	848(7)
Avon における突然死症候群 (SIDS) 発生率の減少は乳児の睡眠時体位の変化だけで説明可能か?	919(8)
低体重児の障害発生率は増加していないが、生存率の改善のためその絶対数は増加	944(8)
スタンフォード大学のセクハラ	1035(9)
フロリダの医師は全員毎年 250 ドルを脳神経	

障害児補償基金に	1038(9)
鉗子分娩は児の知能に影響を与えるか?	1059(9)
救急車の到着がおくれて 100 万ドルの賠償金	1068(9)
方向感覚と男女差	1089(9)
帝王切開時の筋層縫合は一重で十分	1186(10)
Nintendo Surgery	1189(10)
AIDS 保菌者と結核の増加	1192(10)
胎便排出は羊水感染症と関係あり	1205(10)
胞状奇胎の組織学的分類は予後と関係なし	1220(10)
帝王切開後の経腔分娩時の子宮破裂	1223(10)
医療費による破産の増加	1299(11)
ヘルシオンは発売禁止にすべきか?	1313(11)
San Francisco report	1351(11)
妊娠中絶は是か非か	1354(11)
Alternative Medicine	1384(11)
非常に早期の破水	1429(12)
授乳に伴う無月経は避妊法として有効か	1474(12)

Q and A

妊娠中毒症の予知	貝原 学	121(1)
中高年婦人の“高度ののぼせ”への対応法	本多 洋	121(1)
思春期の月経困難症の治療法	北井 啓勝	122(1)
妊娠中の性行為に関する注意点	伊藤 博之	253(2)
HMG-hCG 療法中、卵巣過剰刺激症候群による死亡例	青野 敏博	254(2)
冷え症の治療	福島 峰子	254(2)
クラミジア感染新生児の取り扱い	菅生 元康	383(3)
思春期前期にみられる頑固に反復する子宮出血	関 克義	384(3)
帝王切開は何回まで可能か	武久 徹	384(3)
妊娠中毒症の低用量アスピリン投与方法	日高 敦夫	503(4)
精巣上体精子吸引法について	寺田 為義	503(4)
男性不妊症に使用される漢方薬	木村 正一	504(4)
初産婦骨盤位に対する取扱い	友田昭二・荻田幸雄	628(5)
C 型肝炎と母子医療	矢野 右人	629(5)
CIS の治療法の選択	近江 和夫	629(5)
HbA _{1c} と GTT との関連について	浜田 悌二	755(6)
M-CSF, G-CSF, GM-CSF の使用法	根岸 能之	755(6)
内膜癌診断における細胞診と組織診	蔵本 博行	756(6)

MRSA と産婦人科診療の現況 …松田 静治…	889(7)
ITP 合併産婦の分娩様式……………齊藤 良治…	890(7)
胎児性フィブロンクチンについ て……………川越慎之助…	890(7)
抗リン脂質抗体……………牧野 恒久…	1015(8)
卵巣癌化学療法のセカンドライ ン…金沢 浩二・中村 稔・田中 憲一…	1016(8)
胎児性アルコール症候群……………巽 英樹…	1017(8)
骨盤位のときの経腔分娩の目安…武田 佳彦…	1018(8)
ワーファリン療法の適応と方法…森山 郁子…	1149(9)
甲状腺疾患合併妊娠と胎児奇形…光田 信明…	1149(9)
妊娠経過中の血清カルシウム測 定の意義……………福岡 秀興…	1150(9)

*

直腸診 rectal examination ex- ploratio rectalis のコツ……………館野 政也…	1277(10)
新生児の DIC ……………赤松 洋…	1277(10)
子宮内膜増殖症とは……………蔵本 博行…	1399(11)
子宮頸部の dysplasia の放置に よる影響……………矢嶋 聡…	1400(11)
美容的皮膚切開縫合法の工夫に ついて……………高島 英世…	1400(11)
抗癌剤療法と性機能……………泉 陸一…	1507(12)
鍼灸術による骨盤位矯正法……………代田 文彦…	1508(12)
プロラクチノーマ婦人の授乳と 腫瘍への影響……………青野 敏博…	1508(12)

*